

萱津神社「香乃物祭」に出展しました。（2018年度）

塩と暮らしを結ぶ運動では、8月21日（火）に愛知県あま市の萱津（かやづ）神社で開催された漬物のお祭り・香乃物祭（このものさい）に、昨年度に引き続き出展しました。

例年このお祭りに参列するとともに境内にブースを出展している名エン株式会社（全国塩元売協会会員）が、今年もブースを出展し、塩の即売等とともに、運動の周知活動も行ったものです。

お祭りには、例年同様、全国の漬物業界や塩業界の方が多数参列され、「漬込神事」に参加して漬物の生産と家業繁栄・諸病免除を祈願しました。

名エン株式会社のブースでは、運動ののぼりを掲示し、参列者の方々に、運動の冊子『塩と暮らしのあれこれBOOK』やウチワ、塩飴を配布しました。また、お子様には、塩イルカのマグネットもお配りしました。なお、ブースの運営には、鳴門塩業株式会社（一般社団法人日本塩工業会会員）の協力もありました。

今回も平日の開催でしたが、ありがたいことに雨も降らず、大勢の方の参列がありました。気温が高かったために、特にウチワや塩飴が人気でした。

当日は、小学生を含む約200名の方に、漬物に欠かせないのはもちろん、それだけにとどまらない塩と暮らしの関わりについて、お伝えすることができました。



萱津神社「香乃物祭」に出展しました。（2017年度）

愛知県あま市の萱津（かやづ）神社は、日本で唯一の漬物を祭る神社です。

萱津神社では毎年8月21日に、香乃物祭（こうのものさい）という、漬物の生産と家業繁栄・諸病免除を祈願するお祭りが取り行われており、例年、全国から、漬物業界や塩業界の方など、多くの方が参列されています。

このお祭りでは、参列者も参加できる「漬込神事」が行われます。本神殿での神事後、漬物の材料となる野菜が「香乃物殿」に運ばれ、これを、参列者が、塩をつけて甕（かめ）の中に入れていきます。

漬け込まれた野菜は、2年かけて香の物になります。漬込神事が終わった後、境内で、2年前に漬け込まれた香の物がふるまわれます。また、香の物は、同県の熱田神宮の例年の大祭にも、奉獻されるそうです。

香乃物祭の日には、境内で、漬物の即売会や自家製漬物のコンテストなども行われます。

塩と暮らしを結ぶ運動推進協議会会員である全国塩元売協会所属の名エン株式会社は、例年、お祭りに参列するとともに、境内にブースを出展して、塩の即売等を行っていますが、今年は、これに加え、塩と暮らしを結ぶ運動の周知活動も行いました。

ブースに運動ののぼりをセットし、訪れた参列者の方に、塩飴、ウチワ、運動リーフレットを配布しました。

今年の香乃物祭は平日（月曜日）の開催でしたが、大勢の参列・来場者があり、好天だったために塩飴が特に人気でした。

約100名の方に塩飴等を配布し、漬物に欠かせない塩について、改めて興味・関心を持っていただくことができました。

